

原宿で体験発表会

へんてる「マットホップ」

Z世代向け開発の筆記具



商品説明する商品企画部担当者

へんてる株式会社(高橋智和社長、東京都)は、8月22日、東京・渋谷区の東急プラザ表参道原宿4階で、Z世代に向けて新たに開発したマットカラーなケルインキボールペン「MATTERHOP」(マットホップ)の体験発表会を開催した。

マットホップは、女子高生をメインターゲットとした、これまでになかった質感とペン先で存在感のあるイラストや文字を描くことができるケルインキボールペン。現役女子高生のリアルな声を活かし、カラーペーパーや写真、マスクやテープなどにも、インパクトのある高発色なデコレーションを楽しめるように開発された。

製品特徴は、一般的な顔料ボールペンに比べて、大きな顔料(色の粒)をたくさん使っている。独自の「たぐさんの大きな粒を均一に分散させる」技術によって、筆跡の表面がきれいな凹凸となり、光が様々な方向に乱反射することで、

「マットホップ」は、マッとした筆跡を意味する「MATTERHOP」と、夢中になって楽しむ心弾む様子を表現する「HOPPING」を組み合わせた造語。

近年、10代の間で、誕生日や卒業祝いとして友達への思い出の写真をマッとしたデコレーションした「JK(女子高生)アルバム」が人気を博しているが、「マットホップ」はマッとした筆跡で濃く鮮やかに発色するので、タイトルやメッセージ、イラストだけでなく、

く、写真やマスキングテープへのデコレーションなど、華やかに存在感のあるアルバム制作が可能。

インキカラーは全14色展開で、7色セット2種類とスイート14色セット、計3種類のセットを同時発売。セットケースはシェアして使いたくなる、お菓子パッケージのようなデザイン。価格(税込)は1本220円、7色セット1540円、14色セット3080円。

メディアを招いて行われた発表会は、「マットホップ」のマーケティングを担当した製品戦略本部製品戦略部マネージャー・デザイングループマネージャーの課の小平玲菜氏と企画を担当した同部商品企画グループの高井晴佳氏が商品説明。

商品のコンセプトは「実在級インパクトで、描けばゾクゾク強烈なハッピー」で、女子高生に向けて強いインパクトとラクガキの自由さを組み合わせたキービジュアルで「マットホップ」の魅力を訴求している。

10代女子高生を招いたワークショップでは、学校で、

uni MITSUBISHI PENCIL

三菱鉛筆関西販売株式会社
受注商談会
2023年8月25日(金) 9:00~17:00

体育祭や学園祭に、お菓子へのデコレーションなど、華やかに存在感のあるアルバム制作が可能。

新商品や売場提案

三菱鉛筆関西販売株式会社(丸大直人社長、大阪市)は、8月25日、大阪・本町のサンライズビル2階で、夏以降の新製品展示を中心とした「受注商談会」を開催。流通業者300社を呼び寄せ、活発な商談を行った。

会場は、ジェットストリーム、ユニボールワン、新えんぴつ、新入学生・児童文具シリーズ、シャープペンシル、関西販売オリジナル企画「じぶんの字がキレイな人のための文具店」キャンペーン開催も告知した。

企画「じぶんの字がキレイな人のための文具店」キャンペーン開催も告知した。北村社長は「コロナ禍以前は毎年11月に宇治市産業会館で、ユーザーフェア(3000人参加)を開催していたが、コロナ禍後の会館リニューアル以後、オンラインフェアが好評を博していた。体験イベントは商品の良さをお客様自身が実感することができ、今後は店舗での体験イベントで、商品の魅力を伝えて、拡販を図ってきたい」と抱負を語っていた。

手描きのリアルとマッとした色合いのデコレーションが紹介された。

「ユニボールワン」は、「最も黒いケルインキボールペン」としてギネス世界記録認定を受けたユニースを紹介。黒色に関して、濃く、くっきりとした文字は記憶に残りやすいことが、同社と立命館大学の共同研究によって分かった。ユニボールワンシリーズを使うことで、ノートを見返したときに印象に残りやすく、記憶力アップにつながる文字を書くことができる。

加えて、シャープペンシルでは、「クルトガ」発売15周年、「アルファゲル」発売20周年の記念企画、「日本文具大賞2023」グラプリを受賞した「uni」の芯の詰め替用と替え芯ケースの「メタルケース」を組み合わせたによるサステナブルな売場提案。

関西販売オリジナル企画では、第一弾が好評を博した「バイナメ」のジェットストリームなど大阪製コロ

大阪で初開催の紙博に千人来場

手紙社(北島敷社長、東京都)は、紙の魅力を最大限に引き出す「紙の文化」をテーマとした「紙博」を、8月5、6日に大阪(大阪市中央公会堂)で初開催。紙の愛好家約4200人が来場して賑わった。

雰囲気のある会場には紙(素材)、デザイン、印刷、加工、メーカー、イラスト、活版印刷、文房具、はたか、ガラスペンとインク、

東京は9月23・24日に開催

なお、「紙博」は、9月23、24日、東京・台東区の東京都立産業貿易センター台東館で開催。会場には14店が出店、来場者数は1万人を見込む。イベントでは、出展者から募ったエンタリー作品から「ほんこ」

「マスア」(ポストカード)「シル」(オフジエ)の5部門の大賞を来場者投票で決定する「紙の大賞」企画が復活する。入場料金はプレミアムチケット(トトバッグ付き)1200円、スタンダードチケット1000円、当日会場販売チケット1200円。小学生以下無料。

ス革新部(財務革新部)新任 監査役 松田隆司 山崎直樹(専務取締役、大阪支社支社長)、阪本玲子(執行役員、大阪支社支社長)、杉原誠一(取締役、船橋支社支社長)、茂田智之(執行役員、千葉支社支社長)、安宅伸之(執行役員、中部支社支社長)、大澤修一(加須支店支社長)、菊田信隆(福岡支店支社長)、中沢剛(仙台営業所所長)、井関潤一(取締役、商品調達部長)、大森泰志(執行役員、クリエイティブマーケティング部長)、小林彰(シニア革新部長)、大谷武史(財務革新部長)、青木幸二(情報戦略部長) 終身名誉顧問 長谷川豊

「マッとした筆跡を意味する「MATTERHOP」と、夢中になって楽しむ心弾む様子を表現する「HOPPING」を組み合わせた造語。

「ユニボールワン」は、「最も黒いケルインキボールペン」としてギネス世界記録認定を受けたユニースを紹介。

「マスア」(ポストカード)「シル」(オフジエ)の5部門の大賞を来場者投票で決定する「紙の大賞」企画が復活する。

ス革新部(財務革新部)新任 監査役 松田隆司 山崎直樹(専務取締役、大阪支社支社長)、阪本玲子(執行役員、大阪支社支社長)、杉原誠一(取締役、船橋支社支社長)、茂田智之(執行役員、千葉支社支社長)、安宅伸之(執行役員、中部支社支社長)、大澤修一(加須支店支社長)、菊田信隆(福岡支店支社長)、中沢剛(仙台営業所所長)、井関潤一(取締役、商品調達部長)、大森泰志(執行役員、クリエイティブマーケティング部長)、小林彰(シニア革新部長)、大谷武史(財務革新部長)、青木幸二(情報戦略部長) 終身名誉顧問 長谷川豊

新製品体験イベント

京都府宇治市・キタムラ

メーカー各社が協賛



パイロットコーポレーションの体験イベント

京都・宇治市役所前の文具店「有限会社キタムラ」(北村建治社長)は、8月21、31日のサマーセール期間、商品の魅力をユーザーに伝

える製品体験イベントを開催した。

イベントスケジュールは、24日、パイロットコーポレーション「フリクション」シリーズと「ナジチップ」搭載のペン、25日、同「万年筆」シリーズと「モデル」(スマホとつないでラベル製作ができるアプリ)の体験イベントを開催した。

このうち、24日のパイロットコーポレーション

体験イベントでは、ステーションナリ西日本営業部・和泉孝洗氏とパイロットインキ販売促進グループ・橋本渉氏が説明員となつて、来客の質問に答えた。

「フリクション」では、より濃く、より長く書ける新インキを試筆体験。商品紹介では世界的なファッションブランド「ナ・スイ」のロゴモデルの限定商品も紹介。「ナジチップ」搭載のペンでは、他にはない繊細な書き心地の体験イベントで、商品の魅力を伝えて、拡販を図ってきたい」と抱負を語っていた。

WEB3ソリューションを提供

「シャチハタブランドアンドセキュリティーズ」設立

シャチハタ株式会社(舟橋正剛社長、名古屋市中区)は、株式会社セキヤハタ(上瀧寛平社長)は、WEB3ソリューションを提供する

「シャチハタブランドアンドセキュリティーズ」設立

シャチハタは、電子決裁サービス「シャチハタクラウド」を中心として、DX事業に注力してきたが、今回設立したシャチハタブランドアンドセキュリティーズを通じて、新たなDXの可能性を見出し、さらなる

期待されている。また、将来的にNFTドメインのアプリケーションは、難しいとされるブロックチェーンアドレスの視認性、ブロックチェーンアドレスの所有権の証明、ブロックチェーンアドレスの統合などによるセキュリティ向上が図れ、ID認証、コンテンツ配信、トランザクションでの活用、および開発に関する問題も解決すること、WEB3テクノロジの開発を促進し、ブロックチェーン業界全体に新しい活力を注入すると期待されている。

「nftdomain.biz」は、トップレベルNFTドメインとして、従来の中央集権的なドメインの発行管理だったことにより、変更が不可能であった「.com」等の「.nftdomain.biz」の分散化技術によって、3の分散化技術によって、セキュリティ向上が図れ、ID認証、コンテンツ配信、トランザクションでの活用、および開発に関する問題も解決すること、WEB3テクノロジの開発を促進し、ブロックチェーン業界全体に新しい活力を注入すると期待されている。

「シャチハタブランドアンドセキュリティーズ」設立

シャチハタは、電子決裁サービス「シャチハタクラウド」を中心として、DX事業に注力してきたが、今回設立したシャチハタブランドアンドセキュリティーズを通じて、新たなDXの可能性を見出し、さらなる

期待されている。また、将来的にNFTドメインのアプリケーションは、難しいとされるブロックチェーンアドレスの視認性、ブロックチェーンアドレスの所有権の証明、ブロックチェーンアドレスの統合などによるセキュリティ向上が図れ、ID認証、コンテンツ配信、トランザクションでの活用、および開発に関する問題も解決すること、WEB3テクノロジの開発を促進し、ブロックチェーン業界全体に新しい活力を注入すると期待されている。

「nftdomain.biz」は、トップレベルNFTドメインとして、従来の中央集権的なドメインの発行管理だったことにより、変更が不可能であった「.com」等の「.nftdomain.biz」の分散化技術によって、3の分散化技術によって、セキュリティ向上が図れ、ID認証、コンテンツ配信、トランザクションでの活用、および開発に関する問題も解決すること、WEB3テクノロジの開発を促進し、ブロックチェーン業界全体に新しい活力を注入すると期待されている。

今回設立したシャチハタブランドアンドセキュリティーズは、World Scan Projectとセキヤハタの正規代理店としてのタイパープロジェクトチェーン上のトップレベルNFTドメイン登録サービスで、最先端の法人向けトップレベルNFTドメインの購入が行えるようになった。

「商標登録」登記簿原本「既存ドメイン保有証明書」3点の書類があれば、簡単に法人向けトップレベルNFTドメインを登録・保有できるサービスを提供している。